

【解説のページ】

【コース】 今回の探索では次のコースを回る予定です。ただし時間によって一部変更があるかも知れません。

コース： 荻窪地域区民センター（集合） → 川南遺跡 → 大田黒公園 → 石井桃子カツラ文庫 → オーロラの碑 → ガンジー像 → 西郊ロッヂング → 長屋門 → 白山神社 → 光明院 → 荻窪駅 解散 3.7 k m 2 時間

【見学先説明】

1.川南遺跡

荻窪地域区民センター建設に伴う発掘調査により、地表下1mのローム層から多くの石器が発見され、12000年前の遺跡であることが判明した。種々の石器類とともにバーベキュー跡も発見された。

2.太田黒公園

音楽評論家大田黒元雄氏の遺志に基づき、遺族から杉並区に寄贈された土地に周囲の土地を合わせてつくられた回遊式日本庭園の公園。昭和8年建築のレンガ造り洋館アトリエは記念館として公開。

3.石井桃子かつら文庫

地域の子供たちがくつろいで自由に本が読めるようにと、童話作家石井桃子が1958年に開いた小さな図書室。現在は東京こども図書館がその活動を引き継ぎ、毎週土曜日に開室。

4.オーロラの碑

昭和29年アメリカがビキニ環礁で水爆実験を行い、日本のマグロ漁船が死の灰を浴びたことから、原水爆禁止署名運動が起こり、その拠点となった旧区立公民館（現荻窪体育館）角に建てられた記念碑。



5. ガンジー像

インドとの親交の深い杉並区に寄贈されたマハトマ・ガンジーの銅像（高さ 2m）で、平成 21 年に区立中央図書館に隣接する読書の森公園に建てられた。



6. 西郊ロッヂング

文京区本郷で営業していた下宿屋が関東大震災後の昭和 6 年（1931）に、荻窪に本館を新築して高級下宿「成功ロッヂング」として移転した。昭和 13 年に新館を増築。現在も本館は旅館として営業。



7.長屋門

旧下荻窪村の名主・田中家が第11代将軍徳川家斉を鷹狩の休憩に迎えるために建てたもので、築200年。高さ6m、幅23.4m、奥行き5.4mの大規模な門で、内部に物置や穀倉に使われた部屋がある。



8.荻窪白山神社

中世につくられた旧下荻窪村の鎮守。かつては歯の神様として知られていた。重さ150貫余(563kg)の御輿や都内第二の大きさの大太鼓(直径149cm)などが奉納されている。女みこしでも知られる。

9.光明院

通称「荻寺」と呼ばれ、荻窪の地名もその名に由来すると言われる。本尊の千手観音像は南北朝期の作で、当寺の開創は南北朝期にさかのぼると考えられる。本堂は嘉永3年(1850)の再建。

